

「預かり金」の設定

■ 「預かり金」の設定手順

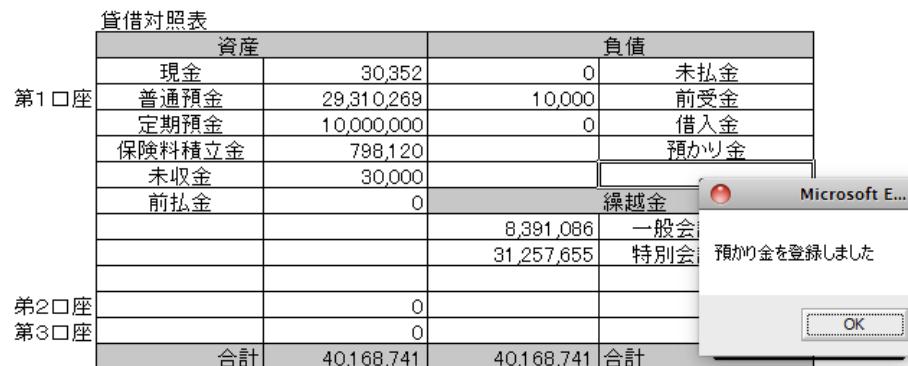
1. 「貸借対照表」シートで「預かり金」を登録します

① 預かり金を記入

| 貸借対照表 | | | |
|--------------|--------|------------|--------------------|
| 資産 | | 負債 | |
| 第1口座 | 現金 | 30,352 | 0 未払金 |
| | 普通預金 | 29,310,269 | 10,000 前受金 |
| | 定期預金 | 10,000,000 | 0 借入金 |
| | 保険料積立金 | 798,120 | |
| | 未収金 | 30,000 | |
| | 前払金 | 0 | 繰越金 |
| 第2口座 第3口座 | | | 8,391,086 一般会計繰越金 |
| | | | 31,257,655 特別会計繰越金 |
| | | 0 | |
| | | 0 | |
| | 合計 | 40,168,741 | 40,168,741 合計 |

預かり金と記入する

② 「預かり金を登録しました」が表示される → 「OK」をクリック



2. 預かり金に相当する勘定科目を 勘定科目一覧に追加します

例えば 駐車場の敷金を預かり金として登録する場合

「勘定科目一覧」に預かり金の入金と、預かり金の返却に相当する勘定科目を追加します

■ 預かり金の入金の勘定科目を追加

① 「駐車場 敷金」を一般会計の入金の勘定科目に追加します

■ 預かり金の返済の勘定科目を追加

② 「駐車場 敷金の返却」を一般会計の出金の勘定科目に追加します

*名称は、預かり金の内容が分かればOKです

*預かり金は一般会計の入金・出金の勘定科目で登録しますが、預かり金の増減は
普通預金と預かり金が同額の変化をするだけで、一般会計は変化しません。

3. 仕訳帳での「預かり金」の設定

駐車場 敷金での設定事例

① 「駐車場 敷金」の入金の操作

- (1) 勘定科目で「駐車場 敷金」を登録し金額を入力
- (2) 「勘定No.」を「クリック」すると、区分の表示が切り替わりますので
「預かり金」を選択する

| | | | | | | |
|---|--------|----------|--|--|--|--------|
| 4 | 駐車場 敷金 | 102 預かり金 | | | | 20,000 |
|---|--------|----------|--|--|--|--------|

② 「駐車場 敷金の返却」の出金の操作

- (1) 勘定科目で「駐車場 敷金の返却」を登録し金額を入力
- (2) 「勘定No.」を「クリック」すると、区分の表示が切り替わりますので
「預り金の返済」を選択する

| | | | | | | |
|---|-----------|------------|--|--|--|--------|
| 4 | 駐車場 敷金の返却 | 124 預り金の返済 | | | | 10,000 |
|---|-----------|------------|--|--|--|--------|